



ALSOプロバイダーコース in 東海大学

平成29年11月25日（土）・26日（日）



Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした訓練でもあります。

1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案し、1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。ALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国、16万人以上がALSOコースを完了しています。

ALSOプロバイダーコースは2日間のコースです。8つのレクチャー（妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、マタニティケアにおける安全性）と、少人数グループによる5つのワークショップ（肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例）があります。2日間のコース受講後に筆記試験とマネキンによる実技試験（メガデリバリー）があり、合格するとAAFPの認定する5年間有効の認証を授与されます。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国35の都道府県でコースが開催され、5,000名超がコースを終了しました（2015年12月31日現在）。参加者は産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。産科救急医療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい状況になりつつあることは周知の事実です、日本全国の全ての地域で、できる限り同じレベルに産科医療を維持するために、産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOです。

東海大学で2回目のALSOプロバイダーコース開催となりました。本コースは産婦人科に関心のある初期研修医を中心に、分娩に関わる医療プロバイダーを対象としております。

ALSO プロバイダーコース in 東海大学

主催：東海大学医学部附属病院

共催：NPO法人 周生期医療支援機構（OPPIC）

場所：東海大学医学部1号館5階 5FC教室
（神奈川県伊勢原市）

日時：平成 29 年 11 月 25 日（土）， 26 日（日）

定員：20名（**一般公募なし**）

参加申込み必要事項：

- ① 名前 ② ふりがな ③ 名前ローマ字表記(例：おるそう 太郎 Taro Also)
- ④ 所属病院 ⑤ 役職
- ⑥ 職業（初期研修医は研修年度，後期研修医は研修年数を記入ください）
- ⑦ 卒業年度（西暦） ⑧ 住所（郵便番号も記入ください）
- ⑨ 電話番号（携帯電話：当日連絡がつくもの）
- ⑩ E-mailアドレス（携帯電話メールアドレスは不可）

申込み・問い合わせ先：tokaiobgyn.also@gmail.com

東海大学医学部附属病院産婦人科 事務局：林

